

「ウィーンの調べを楽しむ」音楽鑑賞、オペラ観劇他

Opera, Concert, Musical, etc.



- **オペラ** 国立オペラ座／小澤征爾指揮（フィデリオ、ドン・ジョヴァンニ、フィガロの結婚、ヴォツェック、エレクトラ、さまよえるオランダ人、マン・レスコー）、フォルクスオーパー（100周年）
- **コンサート** 一般コンサート…楽友協会（4つの新ホールがオープン）、国立オペラ座 小澤征爾コンサート、コンツェルトハウス 観光客向けコンサート…ウィーン・モーツァルト・オーケストラ、ウィーン・ホーフブルク・オーケストラ、シェンブルン宮殿コンサート、ウィーン・レジデンツオーケストラ、クアサロン・コンサート、ウィナー・ワルツ&ディナーショー
ウィーン少年合唱団（王宮礼拝堂ミサ、楽友協会コンサート）
- **ミュージカル** エリザベート、ロメオとジュリエット（2005年2月～ライムント劇場）etc.
- **ホイリゲ** グリンツィングのホイリゲディナーショー（シュランメル音楽が聴ける）

- **レストラン** 市庁舎のレストランでワルツのディナーショー「ラートハウスケラー」、ワインの試飲とチターの調べを聞きながらの夕食「ピヤリストンケラー」
- **カフェ** 伝統的なウィーンのカフェハウスではコンサートやピアノの生演奏を楽ませしてくれるコンツェルトカフェと呼ばれるお店がたくさんあります。シュベルトやヨハン・シュトラウスも自作を演奏しました。店によって毎日や決まった曜日に、コーヒーを飲みながら音楽が楽しめます。

「美術館巡り」絵画の宝庫ウィーン

Art Scene in Vienna



ウィーンには世界的有名な美術史博物館を筆頭にハプスブルク家が世界中から集めた素晴らしい中世の絵画がたくさんあります。また19世紀末から20世紀初頭にかけてユーゲントシュティールと呼ばれる世紀末芸術が開花しました。

- **美術史博物館**／ルーブル美術館や大英博物館等と並ぶ世界屈指の美術館。ハプスブルク家歴代の収蔵品を展示し、中でも世界最大のプルーゲルのコレクションやルーベンス、レンブラントの作品群が有名。
毎週木曜日18:30-22:00まで館内レストランにてディナービュッフェ、毎日曜日11:00-15:00ブランチ・ビュッフェを開催。 www.khm.at
- **ミュージアム・クォーター・ウィーン(MQ)**／旧見本市宮殿が下記のアート館を中心にヨーロッパ最大の文化複合施設(総面積6万平米)に生まれ変わった。 www.mqw.at
- **レオポルト博物館**／エゴン・シーレ世界最大コレクションを持つ。クリムト、ココシュカ、エゴンシーレをはじめ19～20世紀の画家を中心に5000のストックから700点を公開展示。ワグナーやロースらの「ウィーン工房」が制作した家具や食器も展示。 www.leopoldmuseum.org
- **近代美術館ルートヴィヒ・ウィーン**／ピカソ、ココシュカからアンディー・ウォーホルなどの現代派まで20世紀の絵画を中心とした美術館。 www.mumok.at
- **アルベルティーナ**／旧市街にハプスブルク家ゆかりの宮殿美術館が長年の修復により2004年に蘇った。6万点の素描と100万にのぼるグラフィックのコレクション。ミュージアム・カフェのほか、これまで未公開だった宮殿サロンが一般公開されイベント等で利用可能となった。 www.albertina.at

- **ベルヴェデーレ宮殿 オーストリアギャラリー**／上宮にあるクリムトの「接吻」、エゴン・シーレ、ココシュカのコレクション。 www.belvedere.at
- **セセッション**／世紀末の芸術家たちが革命を宣言したユーゲントシュティールの殿堂。クリムトの「ペートーヴェン・フリーズ」を常設。 www.secession.at
- **ウィーン市立博物館 カールスプラッツ**／クリムトの「エミーリエ・フレーゲ」が展示されている。ウィーンの歴史を目で追って学べる博物館。 www.wienmuseum.at

美術史博物館マルチチケット

ゴールド(23ユーロ):美術史美術館、宝物館、新王宮、演劇博物館、馬車博物館、リビッツァーナー博物館
シルバー(21ユーロ):美術史美術館、宝物館、新王宮、演劇博物館
ブロンズ(19ユーロ):美術史美術館、宝物館、新王宮

夜の絵画鑑賞

毎週火曜24:00まで: MAK 応用美術館
毎週木曜21:00まで: 美術史博物館 近代美術館(MQ)
毎週金曜21:00まで:レオポルト博物館(MQ)
毎日22:00まで :音楽の家

「ウィーンの建築美」バロックから近代建築まで

Architecture



1日目午後 シュテファン大寺院(中心に位置するウィーンのシンボル) → ハースハウス(ガラス張り部分にシュテファン寺院を映し出し新旧建築の融和を体現しています) → カールスプラッツ駅舎(ワグナー記念館) → セセッション(ユーゲントシュティールの建築) → マジョリカハウス(メダイオンや植物文様の壁面) → 三人娘の家(古い民家) → カール・マルクス・ホーフ(大規模集合市営住宅) → ミレニウムタワー(近代高層建築) → UNOシティ(国連都市) → ベルヴェデーレ宮殿(バロック建築) → フンデルトヴァッサーハウス(自然な曲線美)

2日目終日 自由行動 または 以下の「ウィーンの建築ハイライト」へ

その他の見どころ

- **ミュージアム・クォーター内** ウィーン建築センター
- **ガンメーター** (空港から市内に入る所にあった巨大ガスタンクを改装して最近できた615戸のアパートや70店舗のショッピングモールが入る建築)

- **世紀末建築** (郵便貯金局、ワグナーヴィラ、ロースハウス、ロースパー、カフェ・ムゼウム 他)
- **リング通り**(各種建築様式:美術史博物館、自然史博物館、ホーフブルク王宮、国会議事堂、ウィーン市庁舎、ウィーン大学 など)